

ものづくり寄席



平成24年5月～7月

「ものづくり寄席」とは、製造業に関する第一線の研究成果や、製品開発・生産・流通といった現場の最先端の話題が演目として並ぶ、一風変わった寄席

そんな、ものづくり経営に関する研究やものづくり現場の話を、気軽に聞ける寄席が丸の内にあるのを、ご存知ですか？

寄席は、東京大学ものづくり経営研究センターの教員を中心に、日本のものづくりを支える企業人などが、代わる代わる出演

「なんや、大学の先生たちの小難しい話か。かなわんな〜。」

そんな心配はご無用。あくまでも「寄席」。お客さんはみんなフリードリンク片手に、ときどき笑いながら聞いています

ものづくり寄席は、毎週月曜日の夕方に開演。仕事帰りに、お気に入りのカフェにでもちよっと立ち寄る気持ちで、それとも、出張ついでに一席、というのも、よろしいのでは



演者と演目



5月28日	藤本 隆宏	グローバル競争・大震災・超円高とものづくり現場
6月 4日	株 繁乃	会社が愛される理由、儲かる理由
11日	朴 英 元	韓国FTA政策と企業への影響
18日	工藤 悟志	高効率火力発電と日本のものづくり
25日	糸久 正人	標準化のビジネスモデル
7月 2日	岸本 太一	ものづくり中小企業の国際化
9日	高橋 伸夫	組織力について考える

東京大学グローバルCOEプログラム ものづくり経営研究センター アジア・ハブ

- ・東京大学グローバルCOEプログラム「ものづくり経営研究センター アジア・ハブ」(MMRC-AH)は21世紀COEプログラム「ものづくり経営研究センター」(MMRC)の第二期目として設立されました
- ・MMRCは、既存の産業分類や製造業・非製造業の枠を超えた「開かれたものづくり」概念にもとづき、現場発のものづくり経営論、戦略論、産業論等の研究拠点として活動してきました
- ・MMRC-AHは、MMRCで生まれたものづくりに関する知見をアジアのものづくり経営学に應用することにより、この分野で世界をリードする教育・研究拠点となることを目指しています



演目表

ものづくり寄席は、当日売りしかございません
お時間が出来たとき、ぶらりと気軽に立ち寄ってみてください
フリードリンク付きで、ものづくり経営の小咄が楽しめます
人気演目では、立ち見もご愛敬
木戸銭(入場料): 1,000円(税込)

皐月

28日(月) **藤本 健宏**
東京大学大学院
経済学研究科教授
東京大学ものづくり経営
研究センターセンター長

**グローバル競争・大震災・
超円高とものづくり現場
～自滅の道をいかに
回避するか**

リーマンショック、大震災、超円高と日本企業を取り巻く環境は厳しいものがある。こうした状況下で本社の経営陣の心理は、ややもすると弱気になっているように見受けられる。しかし、ものづくりの現場は固有の論理と情熱を持って元気に立ち向かっている。こうした努力を現場事例を紹介しつつ、地方の官(自治体)、産、学、金融機関を巻き込んだ地域のものづくり改善能力を向上させる国内現場の生き残り策を提示したい。

水無月

4日(月) **梓 繁乃**
東京大学ものづくり経営
研究センター
特任助教

**企業が愛される理由、
儲かる理由**

あなたの会社、製品、ブランドは愛されていますか? 顧客に選ばれ利益を上げ続けるため、企業は短～長期リソース活用最大化を図る。そこで必須となる全ステークホルダーが納得する適正評価を会計が担う。企業の持続可能性指標としての投下資本回収効率を中心に、個別会計手法ではなく「製造現場と企業業績の関係」を考える。
あなたの会社は、本当の意味で儲かっていますか?

三月

11日(月) **朴 英元**
早稲田大学高等研究所
准教授
東京大学ものづくり経営
研究センター
特任准教授

**韓国FTA政策と
企業への影響**

近年、日本国内でも環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)や自由貿易協定(FTA)などが盛んに議論されているが、本報告では韓国のFTA政策について紹介する。さらに、韓国のFTA政策が同国多国籍企業のグローバル戦略、とくにグローバル・サプライチェーン展開や輸出戦略に与える影響について説明する。

四月

18日(月) **工藤 恒志**
東京大学ものづくり経営
研究センター
特任助教

**高効率火力発電と
回春のものづくり**

最近、日本の高効率火力発電の技術が注目を浴びている。この高効率火力発電に必要な製品(タービンなど)は、まさに日本の「ものづくり」だからできたといえる。現在この高効率火力発電の開発を行っているのは、世界でも数えられるほどである。そのうち日本には最先端をいく重電3社がある。日本の「ものづくり」の強さについて、重電メーカーにおける高効率火力発電の開発を事例にお話する。

五月

25日(月) **糸久 正人**
東京大学ものづくり経営
研究センター
特任助教

**標準化のビジネス
モデル**

標準化から誰がどのような利益を得るのだろうか? 近年、欧州主導のグローバル標準が黒船のように来襲する中で、このような疑問は、自動車産業の車載ソフトウェア関係のマネジャーからしばしば耳にする言葉である。そもそも標準化とは何かという点から出発し、車載ソフトウェアの標準 AUTOSARの事例を中心に、標準化のビジネスモデルについてお話する。

六月

2日(月) **津本 木一**
敬愛大学准教授
東京大学ものづくり経営研
究センター
特任研究員

**ものづくり中小企業
の国際化
～海外成功と国内
堅調はセット?**

数十社の海外進出したものづくり中小企業を訪問したが、強く印象に残ったことがある。ほぼ例外なく、海外で成功している企業は、国内も堅調なのである。中小企業が海外にて成功するためのカギとは? 国内堅調は、それとどう関係しているのか? 海外と国内の間には、どうやら単純な日常業務の分業関係を越えたダイナミックでディープな関係が存在するようである。

七月

9日(月) **高橋 伸夫**
東京大学大学院
経済学研究科教授

組織力について考える

生産「経営」の本質とは、あるいは「マネジメント」の本質とは、一人一人ではできないような大きな仕事を皆でこなし、一人一人では突破できないような難関を皆でなんとか切り抜けることだろう。それが「組織力」である。では、組織力はどうやって身につけていくのか? そんなことをベテランも新人も考えるきっかけになるように。

2012年 5月～7月開催要項
開催時間 19:00～20:30(受付開始 18:30)
会場 三菱ビル コンファレンススクエア
エムプラス 1階・サクセス
千代田区丸の内2-5-2
(JR東京駅丸の内南口から徒歩約3分)

満員の際には 入場をお断りすることがございます
演目・演者は 変更になる場合がございます
最新情報は ホームページにてご確認ください

